



足立区立六月中学校

令和2年度
第5号
校長 塚原 洋

「初めての夏休み」

本日8月7日は「立秋」です。暦の上では秋ということでしょう。立秋（りっしゅう）は、二十四節気の第13。七月節（旧暦6月後半から7月前半）ということになります。

学校が再開され授業だけでなく、定期テストの実施や部活動も本格的となり、日常が回復してきたように感じられます。

しかし、報道にあるように東京都を中心とした新型コロナウイルス感染症の感染拡大には、歯止めがかかっていないような状況です。

学校の機能を停止しないためには学校だけでなくご家庭、地域の皆様の協力が必要不可欠となります。

私たちは引き続き感染拡大防止、感染予防に努めていくしかありません。

それは手洗いの徹底、マスクの正しい着用、距離を保つ、大声での会話を控える、多人数での会食を控えたり、買い物も短時間で済ませるなどの行動が引き続き求められています。

ご理解とご協力をお願いします。新型コロナウイルス感染症が新型でなくなりワクチンや治療薬が開発されるまでは、新しい生活様式が続きます。

夏季休業中に何かございましたら、学校への連絡をお願いします。

また、休業期間中の夜間や土曜、日曜、祝日のご連絡は本日配布した別紙「夏季休業中の連絡先について」をご覧ください。連絡の徹底をお願いします。

さて、種田山頭火という俳人をご存じでしょうか？

自由律俳句の第一人者として形式に囚われない、まさに普段着の言葉を連続したようであり五七五だけでなく、自然に浮かんだ言葉を並べただけのようにも思えます。研究者ではないので分かりませんが、最初に出会った山頭火の句は「分け入っても分け入っても青い山」など、誰もが想像できるような物が多いと感じています。

その中で次のような句があるのを知りました。

「闇を尊べ、光を包むのは闇である」

まるで漆黒の宇宙を連想させます。漆黒の宇宙の中に銀河系がありその中に太陽系があり宇宙から観れば小さな太陽が光り輝いているようです。

新型コロナウイルス感染症で新しい生活様式が求められ制約が多い、まるで闇の中のようですが、「その中にも光り輝くものが含まれている。闇があるからこそ光の尊さや大切さを知ることができるのでしょ。」と教えられているようです。

まだまだ終息を見せない新型コロナウイルス感染症ですが、私たちのできる新しい生活様式を確実に実践し、新しい生活様式が当たり前となり、ウイルスとの共存ができる日を根気強く待つしかないようです

初めてのこのような短い夏休みですが、ご家族での時間を有意義なものとしていただければと思います。

また、3年生は受験に向けて大切な時間の使い方が求められます。ご家族のご協力をお願いします。

